

「高島市学校規模適正化(学校再編)基本方針案」に関するパブリックコメント ご意見の概要と市の考え方について（結果）

● パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

平成25年11月1日～平成25年12月10日

(2) 意見の内訳

提出方法	郵送	F A X	Eメール	持参	その他	合計
人数		1		3		4

● 意見の概要と市の考え方

提出いただいたご意見および市の考え方は、次のとおりです。

NO	該当箇所	意見等の概要	市の考え方
1	—	<p>児童生徒数の変化によって統合・分散が学校の適正規模というだけで行われるのには異論がある。学校教育経営にかかわる経費の効率化というだけで学校再編を云々するのはいかがなものかと思う。児童生徒に質の異なる複数の集団を保障するという集団活動の醍醐味を大切にしたい。そのため、現在の学校を基盤として、近隣学校との交流活動をイベントとして捉えずに学習活動の一つの形として組織してはどうか。教職員が相互に力を高めるためにも大切な活動であると思う。</p>	<p>学校再編は、経費の効率化ではなく、より良い教育環境の観点から取り組むものです。地域や他校との交流活動を通して自己を発揮し、自己有用感を高めることは重要な学習であると考えていますので今後も学習に取り入れていきます。しかし、毎日の学習において、極端に人数が少ないことで、子ども同士で学び合う機会が不足したり、生活面でも課題が生じることからも一定規模が必要と考えています。</p> <p>なお、方針案に対する具体的指摘箇所がないことから、原文どおりとします。</p>
2	—	<p>保護者や地域の意見を十分聞いて慎重にという意見です。子どもと地域の将来が決まることです。市内教育者の異意見を知らされていないように思う。</p>	<p>小規模校の利点や課題、基本方針案の方向性については、教育委員会として小規模校の学習や生活のようす、学校運営の状況を見て、さらに教職員との意見交換を行った上で方針案に反映したものです。今後も保護者や地域の声を十分聞きながら進めてまいります。</p> <p>なお、方針案に対する具体的指摘箇所がないことから、原文どおりとします。</p>

3	—	<p>以前に高島小学校に勤務したことがあり、3分の2がバス通学であった。通学区域が広がるとバスの時間に合わせて下校する必要が生じる。生徒指導や学習補習などの時間を考えると小学校は歩いて通える地域にあってほしいと思う。また、全国で小中一貫校の設置が進められているが、これは教育費抑制と箱ものづくりのためである。保護者や地域の意見を十分聞いて決めていただきたい。</p>	<p>統廃合を行うことで通学区域が拡大し、バス通学となる地域が生じますが、そのことが教育効果の低下に繋がることのないよう指導体制を整え、学習面や生活面の両面で統合による効果を実感できる教育活動をめざして取り組みます。</p> <p>なお、方針案に対する具体的指摘個所がないことから、原文どおりとします。</p>
4	—	<p>今津西小の出身であるが、児童数が3～4人という極端な状況になれば統合も仕方ないと思うが、一方で1クラス35人もいると一人一人に目が届きにくく適正規模ではない。教員の経験から、へき地教育が教育の原点であると実感している。少人数教育はメリットの方が大きく数合わせだけが先行することには反対です。高島市はゆったりとした少人数編制の良さを生かしていくべき。極小人数となっている学校の保護者の願いを優先することはもちろんですが、地域の声も聞いて慎重に進めてほしい。</p>	<p>今津西小学校は全校児童が6名で県下でも最小規模であります。統合することで、子ども同士が学び合い互いに高め合う学習活動や、人間関係面でも真の友達を見つける機会が広がり、子ども達にとってより良い教育環境になると考えます。統合校においても、児童一人一人をしっかりと見つめた指導ができるよう体制整備に努めていきます。</p> <p>なお、方針案に対する具体的指摘個所がないことから、原文どおりとします。</p>